

平成28年度事業報告

県下の暴力団勢力は、暴対法の相次ぐ改正、暴力団排除条例の制定、警察の暴力団に対する集中取締りとこれに連動した行政、企業、各種団体の暴力団排除に向けた取組みの強化等による社会全体における暴力排除気運の高まりにより、平成28年12月末現在8団体・約150人（前年比-約30人）と減少を続けている。

しかしながら、全国最大の勢力を維持する六代目山口組が分裂し神戸山口組が結成されて1年半が経過し、全国各地で両組織の衝突が見られるほか、京都市内に所在する指定暴力団「六代目会津小鉄会」が両山口組の対立の影響を受けて分裂の危機にあるなど、本格的な対立抗争は一触即発の状態にあると認められ、市民生活に重大な危険を及ぼす事態の発生が懸念されている。

本県でも、勢力が減少しているとはいえ、昨年10月に、県内神戸山口組傘下組織の組長が、対立する六代目山口組傘下組織の組員に撲殺される事件が発生し、事件を契機として対立抗争事件に発展する可能性が高まるなど、市民生活を脅かす事案の発生が懸念され予断を許さない状況にある。

他方、当センターが、和歌山県公安委員会の委託事業として行っている「不当要求防止責任者講習」において、平成27年度、企業1269社、公務員400名から、反社会的勢力からの不当要求実態のアンケート調査を行った結果、不当要求を受けた企業は約2割、その内、一部でも要求に応じた企業は約四分の一に達しており、いずれも全国平均を上回っていたものの、その実態が当センターや県警でも情報や相談で把握できていない現状が認められた。

このようなことから、平成28年度の当センターの重点事業を
「暴力団等反社会的勢力の資金源遮断に向けた諸活動」
とし、アンケート結果に見られた不当要求に関する情報の吸い上げ等下記の事業を推進した。

事業名	実施項目	実施内容
1 広報啓発活動事業	(1) 暴力団員による不当な行為の予防に関する知識の普及及び思想の高揚を図るための広報啓発活動	ア 広報啓発資料の作成、配布 ○ 企業対象暴力の現状と対策 (800部) ○ 行政対象暴力の現状と対策 (200部) ○ 暴力団排除ポスター (1500部) ○ 暴力団勢力図 (2000部) ○ 暴排マグネット (500個) ○ 暴追センターだより2016版 (2500部) ○ 暴排ポスター（和歌山トライアズ） (2000枚) ○ 暴排カレンダー (700枚) イ 啓発DVDの整備 ○ 「暴排のシリオ」（全国暴追センター） ○ 「不当要求・クレームへの初期対応」（特暴連）

ウ 広報媒体等を活用した広報

- イオンシネマにおける広告上映更新（4月）
- 和歌山トライアズとの広報業務委託契約更新
- 地元放送局（テレビ・ラジオ）の活用
- バス時刻表（各戸配付）への広報掲載
- 「二十歳の手帳（新成人配付）」への広報
- 和歌山バス（路線バス5台）ラッピング広告の更新
- テレ和歌、和歌山放送・FM和歌山等を活用した広報
- 電光掲示板による広報（4カ所）
- 和歌山市が市内全世帯に配付予定の「和歌山市暮らしのページ」への広報
- 各業界機関誌への広報

エ 行政機関、各種業界・団体との連携会議出席

- 和歌山弁護士会新役員就任披露の会（5/11）
- 少年指導委員研修会（5/13）
- 銀行警察連絡協議会総会（5/25）
- 和歌山県遊技業協同組合通常総会（5/25）
- 行政書士会総会（5/26）
- (一社)和歌山県産業廃棄物協会総会（6/1）
- 和歌山県JA共済事業防犯対策委員会（6/7）
- 和歌山市地域安全推進員会総会（6/8）
- 和歌山県損害保険防犯対策連絡協議会総会（6/10）
- 平成27年度えせ同和行為対策関係機関連絡会（6/28）
- 和歌山県刑務所出所者等就労支援事業推進協議会（6/29）
- 和歌山県企業防衛連絡協議会総会（8/2）
- 和歌山県役務提供総合審査委員会（8/10）
- 和遊協社会福祉事業協力会評議員会等
(8/17. 9/16. 9/15. 2/7)
- 和歌山県生保警察連絡会（8/31、1/27）
- 和歌山県証券警察連絡協議会総会（10/4）
- 和遊協年頭祝賀会（1/26）
- 近畿地方整備局・警察暴力団等排除連絡協議会（1/29）

オ 企業・行政等に対する講習・講演

- (株)オークワ講義（6/2）
- JR西日本和歌山支社講習（9/29）
- 和歌山県市町村職員監督者二次研修講義（10/14、10/21、10/28）
- 和歌山県行政書士会講習（10/28）
- 県警ライフプランセミナー講義（11/9）

		<ul style="list-style-type: none"> ○ 少年指導委員研修会講義(11/24) ○ 和歌山県公益企業体暴力対策協議会講義 (12/5) ○ 県漁協経営管理者研修講義(2/15) ○ かつらぎ町社会福祉協議会講義(3/10) <p>カ 各種暴排組織等に対する講演</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 御坊市暴力追放・生活安全推進協議会総会講演 (7/26) ○ 岩出市・紀の川市暴力追放市民大会講演(2/7) ○ 近畿弁護士会民暴委員会研修会講義(3/3) <p>キ 研修会等への参加</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 近畿弁護士会民暴委員会夏期研修(8/20) ○ 整理回収機構説明会(9/12) ○ 反社会的勢力対策セミナー(10/11) ○ 資産運用セミナー(12/5) <p>ク 資金源遮断に的を絞った広報啓発活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 和歌山県防犯協議会連合会が行う「風俗営業 管理者講習」への資料提供と資金源遮断広報 ○ 県警が実施した「繁華街等での暴排ローラー」 の機会を活用した暴排啓発マグネットの配付 和歌山市1回(5月)田辺市1回(7月) ○ 和歌山県行政書士会会員対象の特別講習の実施 ○ アンケート結果を踏まえた各種講習・講演にお ける広報啓発
	(2) 暴力追放大会の開催	<ul style="list-style-type: none"> ○ 第25回暴力追放県民・市民大会 平成28年11月1日(火)、和歌山市民会館小ホー ルにおいて、約700人参加により開催 ○ 開催に向けた担当者会議の開催
2 民間の暴排活 動支援	(1) 組織の活性化の促進	<ul style="list-style-type: none"> ○ 和歌山市ホテル旅館結婚式場暴力追放連絡協議 会総会・研修会の開催(2/29)～弁護士の講演 ○ 御坊市暴力追放・生活安全推進協議会総会へ初 参加と講演 ○ 暴力追放県民・市民大会における上記両組織の 個人・団体表彰の実施
	(2) 暴排事業への支援	<ul style="list-style-type: none"> ○ 和歌山市ホテル旅館結婚式場暴力追放連絡協議 会総会・研修会開催に伴う助成金交付 ○ 暴力団追放橋本市民大会開催に伴う助成金交付 ○ 岩出市・紀の川市暴力追放市民大会開催に伴う

		<p>助成金交付</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 橋本市暴力団追放推進委員会が行う橋本市報及び橋本市HPのバナー広告に伴う助成金交付
3 相談活動事業	(1) 相談体制の整備	<ul style="list-style-type: none"> ○ 暴力追放相談委員の体制 <ul style="list-style-type: none"> ・ 常勤 2名 ・ 非常勤 28名（前年比+2名） 警察OB 4名、弁護士14名、保護司5名、少年指導委員5名
	(2) 相談活動の充実	<ul style="list-style-type: none"> ○ 非常勤嘱託職員の採用更新による活動の強化 ○ 相談受理状況 <ul style="list-style-type: none"> 受理件数 H28年間183件（前年比-17件） ○ 出張相談所の開設 <ul style="list-style-type: none"> 田辺市暴力追放決起大会(10/25) 紀の川市・岩出市暴力追放市民大会(2/7) ○ 暴力追放相談委員の知識技能の向上 <ul style="list-style-type: none"> ・ 全国暴力追放相談委員研修会への参加(7/15) ・ 暴力追放相談委員研修会の開催(5/9) 弁護士による講演の実施
4 少年に対する暴力団の影響排除事業	(1) 影響排除活動	<ul style="list-style-type: none"> ○ 県内高校生からの暴排ポスター募集事業による啓発活動 ○ 各種講習、会議の場における広報啓発（「半グレ集団」等の実態広報）
	(2) 少年に対する教育活動	<ul style="list-style-type: none"> ○ 少年を暴力団から守るための啓発冊子「希望のいぶき」を活用した県警組織犯罪対策課、少年課との連携による啓発活動の実施
5 暴力団離脱者支援事業	(1) 離脱希望者の把握と支援	<ul style="list-style-type: none"> ○ 和歌山市内三警察署との「暴力団離脱者等社会復帰検討会」の開催(4/22) ○ 県警及び社会復帰アドバイザーとの連携による離脱希望者の把握と支援 <ul style="list-style-type: none"> ○ 離脱相談・支援1件1名→警察との連携による離脱実施 ○ 上記離脱者に対して、当センター「離脱者援助規程」に基づき離脱援助費を支給 <ul style="list-style-type: none"> ※ 暴力団離脱者援助規程の改正に伴う住居費援助第1号 ※ 暴力団離脱者雇用給付金支給規程の改正

		に伴う雇用主への給付金支給第1号
	(2) 離脱措置の支援	○ センター規定の改正による支援の強化(5/24)
	(3) 社会復帰対策の推進	○ 雇用協力企業の獲得(現在11社) ○ センター規定の改正による離脱者雇用給付金の支給額増額(5/24) ○ 「和歌山県暴力団離脱者等社会復帰対策協議会」の開催(12/7)と活性化 ○ 日本財団「職親プロジェクト和歌山」発足式に出席し、参加事業所に対して暴力団等離脱・社会復帰対策への協力依頼(7/15) ○ 離脱者等雇用受け入れ企業等の開拓に向けた業務の推進→現在16社を登録(内、職親プロジェクト和歌山参加事業所5社)
6 事務所使用差 止制度への対応	(1) 広報の実施	○ 各種講習、会議及び機関誌等の資料による広報の実施
	(2) 関係機関との連携 及び情報収集	○ 県警、和歌山弁護士会民暴委員会等関係機関との連携 ○ 警察庁刑事局組織犯罪対策部暴力団対策課による「適格センター」への立ち入り指導(2/9)
7 不当要求防止 責任者講習事業	(1) 責任者選任事業所の 拡大に向けた広報	○ センターだより等の機関誌、各種講習・会議等における不当要求防止責任者講習制度の広報 ○ 民事介入暴力対策研修会における必要性の説明と広報
	(2) 講習の充実	○ 平成28年度における実施結果 実施回数36回(うち公務員講習9回)1,936人(うち公務員422人)受講(前年比+140人) ※ 和歌山県行政書士会に対する臨時講習実施(会員58名受講) ○ 県警(OBを含む)、弁護士会等との連携による具体的内容の講義 ○ 視聴覚教材の活用
8 救済事業	(1) 被害回復援助	○ 和歌山市内三警察署との被害者支援検討会開催 ○ 県警及び被害回復アドバイザーとの連携による支援を必要とする被害者の把握と支援

	(2) 保護対策	○ 緊急通報装置の貸出し→3月現在なし
9 少年指導委員 研修事業	(1) 少年指導委員活動への支援	○ 和歌山県警察少年指導委員研修会への参加(6/5) ○ 和歌山県警察少年指導委員秋期研修会における講演(11/24) ○ 当センター委嘱暴力相談委員である少年指導委員への研修の実施(5/9) ○ 県警(少年課)との連携と活動支援→啓発冊子「希望のいぶき」の配布
10 上記事業に 附帯する事業	(1) 反社情報の提供	○ 賛助会員に対する反社情報の提供→現在9事業所(前年比+2事業所) ○ 情報セキュリティの徹底
	(2) 調査研究	○ 平成27年度不当要求防止責任者講習における「不当要求実態アンケート調査」結果の集計と本年度受講者へのフィードバック ○ 民事介入暴力対策研修会の開催(2/17) 県警・和歌山弁護士会・当センター・医療関係者71名参加 ○ 暴力団等からの不当要求実態調査→不当要求防止責任者講習時にアンケートを実施 ※ 結果をグラフ化しフィードバック 当センター機関誌「センターだより」掲載
	(3) 表彰	○ 暴力追放県民・市民大会における表彰(11/1) ・ 近畿ブロック暴力追放功労 橋本市 荻田一郎 氏 白浜観光協会 ・ 和歌山県暴力追放功労 橋本市 丸山哲也 氏、 紀の川市 高田亮平 氏 御坊市 天野孝二 氏 紀の川市商工会 和歌山市ホテル旅館結婚式場暴力追放連絡協議会 ・ 暴力団等排除優良企業顕彰 和歌山ターミナルビル株式会社 ○ 全国暴力追放運動中央大会における表彰(11/29)

		<ul style="list-style-type: none"> ・ 銅 賞 新宮市 堀種藏 氏 ・ 団体表彰 和歌山弁護士会民事介入暴力及び非弁護士活動対策委員会 ・ 職員表彰 古山徹 氏（警察官OB）
	(4) 全国・他府県との連携	<ul style="list-style-type: none"> ○ 全国暴迫センター専務理事等研修会(9/2) ○ 近畿ブロック暴迫センター研修会(9/9) ○ 暴力追放兵庫大会(11/8)、同大阪大会(11/10) 同中央大会(11/29)への参加
11 センター運営業務	(1) 会議の開催等	<ul style="list-style-type: none"> ○ 定例会議 平成28年度第1回通常理事会(5/24) 平成28年度第2回通常理事会(3/7) 平成28年度定時評議員会(6/9) ○ 決議の省略(みなし決議) 任期満了に伴う専務理事選任の件(6/9) 辞任に伴う理事・評議員選任の件(6/15) 辞任に伴う理事選任の件(7/1) 増員による新理事選任の件(3/1)
	(2) 財政基盤の拡充	<ul style="list-style-type: none"> ○ 賛助会員の獲得 2月末現在 法人→305法人、922口(16口未納) 個人→51人、61口(3口未納) (H28年度新規 法人5、個人4) ○ 資産の効率的運用→別に報告 ○ 寄附 和歌山県建設業暴力追放協議会150万円 和歌山県警察共助会 100万円 (H25年度から11年間で1,080万円の寄附)
	(3) 適正経理	<ul style="list-style-type: none"> ○ 税理顧問契約の継続(内藤会計事務所)と連絡調整